



新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和7年7月3日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和7年7月29日(火)からオーダーを開始します。

「ポリフル錠 500mg、ポリフル細粒 83.3%」オーダー一時停止のお知らせ

過敏性腸症候群治療剤「ポリフル錠 500 mg、ポリフル細粒 83.3%」につきまして、7月1日の院内通知の通り、出荷遅延や停止が発生するとお知らせしておりましたが、このたび、製造販売元の在庫が消尽し、出荷停止するとの報告を受けました。

これに伴い、当院在庫も欠品となったため、7月22日から処方オーダーを一時停止しました。

本製品において、購入可能な同成分の製剤はありませんが、同様の効能を有する当院採用の製剤については下記をご参照ください。

【当院採用の同効薬】

トリメブチンマレイン酸塩錠 100 mg 「サワイ」(過敏性腸症候群)

イリボーOD錠 2.5 μ g (下痢型過敏性腸症候群)

リンゼス錠 0.25 mg (便秘型過敏性腸症候群)

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

「エリスロシン錠 100mg」オーダー一時停止のお知らせ

マクロライド系抗生物質製剤「エリスロシン錠 100 mg」につきましては、6月26日の院内通知にて、出荷停止のお知らせをしておりましたが、このたび、院内在庫が欠品となることから7月22日に処方オーダーを停止しました。

なお、当該薬剤の代替薬として現時点で一定数量が供給可能な当院採用のマクロライド製剤は以下の通りですが、本件を受け出荷制限となる可能性が予想されます。

【当院採用のマクロライド系抗生物質】

効能効果、用法用量の違いにご注意ください。

クラリスロマイシン錠 200 mg 「タカタ」

クラリスロマイシン錠小児用 50 mg 「タカタ」

クラリスロマイシン DS10%小児用 「サワイ」

アジスロマイシン錠 250 mg 「トーワ」 ※限定出荷品

エリスロシンドライシロップ 10% ※限定出荷品

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

禁忌削除のお知らせ

- ◎ドンペリドン錠10 mg「EMEC」(一般名:ドンペリドン)＜消化管運動改善剤＞
 - ◎ナウゼリン坐剤10、30(一般名:ドンペリドン)＜消化管運動改善剤＞
- 【禁忌】 妊婦又は妊娠している可能性のある女性

警告改訂のお知らせ

※下線部追記

- ◎リンヴォック錠7.5 mg(一般名:ウパダチニブ水和物)＜ヤヌスキナーゼ阻害剤＞
- 【警告】 (X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎、強直性脊椎炎、巨細胞性動脈炎)
本剤の治療を開始する前に、適応疾患の既存治療の適用を十分に勘案すること。

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡いたします。

- ◎エリスロシン錠100 mg(一般名:エリスロマイシステアリン酸塩)＜マクロライド系抗生物質製剤＞
- ◎ケナコルト-A筋注用関節腔内用水懸注40 mg/1mL(一般名:トリアムシノロンアセトニド)＜合成副腎皮質ホルモン剤＞
- ◎ポリフル錠500 mg、同細粒83.3%(一般名:ポリカルボフィルカルシウム)＜過敏性腸症候群治療剤＞
- ◎沈降破傷風トキソイド「生研」＜トキソイド類＞
出荷量：C. 出荷停止 製造販売業者の対応状況： ⑤供給停止
- ◎アモキシシリンカプセル 250 mg「日医工」(一般名:アモキシシリン水和物)＜合成ペニシリン製剤＞
出荷量：B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況： ②限定出荷 (自社の事情)
- ◎スガマデクス静注液200 mgシリンジ「F」(一般名:スガマデクスナトリウム)＜筋弛緩回復剤＞ ※救急用医薬品
出荷量：Aプラス. 出荷量増加 製造販売業者の対応状況： ③限定出荷 (他社品の影響)

【参考情報】 日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』
DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

販売中止のお知らせ

- ◎エダラボン点滴静注液 30 mg バッグ「明治」(一般名:エダラボン)＜脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)＞
出荷終了予定時期：2025 年 12 月 経過措置期間満了日：2025 年 12 月～2026 年 3 月
- ◎コバシル錠 4 mg(一般名:ペリンドプリルエルブミン)＜高血圧症治療剤(持続性組織 ACE 阻害剤)＞※院外専用医薬品
販売中止時期：2025 年 12 月 31 日 経過措置期間満了日：2026 年 3 月末日 (予定)

限定出荷等解除のお知らせ

- ◎ナファモスタットメシル酸塩注射用 50 mg「AY」(一般名:ナファモスタットメシル酸塩)〈蛋白分解酵素阻害剤〉
2025年6月2日より限定出荷解除
- ◎バル筋注 100 mg「AFP」(一般名:ジメルカプロール)〈重金属解毒剤〉
2025年6月16日より限定出荷解除
- ◎ブイフェンド 200 mg 静注用(一般名:ポリコナゾール)〈深在性真菌症治療剤〉
2025年6月11日より限定出荷解除
- ◎ラジカット内用懸濁液 2.1% 35mL(一般名:エダラポン)〈フリーラジカルスカベンジャー〉
2025年6月23日より限定出荷解除
- ◎ジスロマック細粒小児用 10%(一般名:アジスロマイシン水和物)〈15員環マクロライド系抗生物質製剤〉
2025年6月11日より限定出荷解除
- ◎カイトリル注 1 mg(一般名:グラニセトロン塩酸塩)〈5-HT₃受容体拮抗型制吐剤〉
2025年6月26日より限定出荷解除
- ◎アピドラ注ソロスター(一般名:インスリン グルリジン(遺伝子組換え))〈超速効型インスリンアナログ製剤〉
2025年7月1日より限定出荷解除
※院外専用医薬品
- ◎グルコンサン K 細粒 4 mEq/g(一般名:グルコン酸カリウム)〈カリウム補給剤〉
2025年7月1日より限定出荷解除

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
ヘパリンナトリウム注	ヘパリン起因性血小板減少症

ヘパリン起因性血小板減少症があらわれることがあるので、本剤投与後は血小板数を測定してください。

テープ剤の貼付部位にご注意ください

認知機能低下、理解力低下のある患者等にテープ剤を貼付する場合、手の届きやすい箇所に貼付すると容易に剥がす可能性があります。特に麻薬のような管理が厳重なテープ剤もあるため、手の届きにくい箇所に貼付(添付文書上、指定された貼付部位は原則守る)する、テープ剤の上から剥がれにくいよう被覆する等の対応をご検討ください。

効能・効果、用法・用量追加のお知らせ

※追加部抜粋

◎アネレム静注用50 mg(一般名:レミゾラムベシル酸塩)＜全身麻酔・鎮静剤＞

【効能・効果】 消化器内視鏡診療時の鎮静

【用法・用量】 通常、成人には、レミゾラムとして3 mgを、15秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも2分以上の間隔を空けて、1 mgずつ15秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。

◎アムヴトラ皮下注25 mgシリンジ(一般名:ブトリシランナトリウム)＜トランスサイレチン型アミロイドーシス治療薬＞

【効能・効果】 トランスサイレチン型心アミロイドーシス（野生型及び変異型）

【用法・用量】 通常、成人にはブトリシランとして25 mgを 3カ月に 1 回皮下投与する。

◎オブジーボ点滴静注20 mg、240 mg(一般名:ニボルマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】 切除不能な肝細胞癌

【用法・用量】 イピリムマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、1回80 mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ（遺伝子組換え）として、1回240 mgを2週間間隔又は1回480 mgを4週間間隔で点滴静注する。

◎ヤーボイ点滴静注液50 mg(一般名:イピリムマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】 切除不能な肝細胞癌

【用法・用量】 ニボルマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはイピリムマブ（遺伝子組換え）として1回3 mg/kg（体重）を3週間間隔で4回点滴静注する。

◎リンヴォック錠7.5 mg(一般名:ウパダシチニブ水和物)＜ヤヌスキナーゼ阻害剤＞

【効能・効果】 巨細胞性動脈炎

【用法・用量】 通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。

長期臨床実習が始まります

2025年8月18日から2025年10月31日まで、薬学部5年生を対象とした長期臨床実習（9名）を行います。

薬物治療の有効性と安全性向上に貢献できる薬剤師を目指して、知識と技能の取得に精力的に取り組んでいきます。病棟業務・服薬指導等で病棟を訪れた際にはよろしくお願ひします。

☆Drug Safety Update No. 337 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
デスモプレシン酢酸塩水和物（経口剤）（ミリンルトOD錠）	<p>※重大な副作用：追記 アナフィラキシー</p>
デスモプレシン酢酸塩水和物（点鼻剤）（デスモプレシン点鼻スプレー）	<p>※合併症・既往歴等のある患者：一部改訂 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者： <u>治療上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。アナフィラキシーが発現する恐れがある。</u></p> <p>※重大な副作用：追記 アナフィラキシー</p>
チアマゾール（メルカゾール錠、メルカゾール注）	<p>※重大な副作用：追記 急性膵炎： <u>上腹部痛、背部痛、発熱、嘔吐等の症状、膵酵素異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u></p>

<別紙1>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計6品目)

2025年7月29日オーダ開始

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アイリーア8mgキット 131	硝子体 注射	114.3mg/mL	劇	146,286.0	参天製薬	Aflibercept (Genetical Recombination) 眼科用VEGF阻害剤 ★中心下窩脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫の治療 ★既存の製剤はバイアル製剤で調製に時間を要するため、医療従事者の負担軽減および調製手順の簡素化による細菌汚染、ひいては眼内炎発生リスク低減に繋がると考えられる。 ★本製剤では目視による投与量設定が不要となっており、施術者(≒調製者)の違いによる投与量のばらつきを大幅に低減することが可能。 ※常備医薬品としてアイリーア8mg硝子体内注射液114.3mg/mLの採用あり 【発売:2025年5月21日】
1	アリドネ 119	パッチ	27.5mg	劇	286.4	興和	Donepezil アルツハイマー型認知症治療剤 ドネペジル経皮吸収型製剤 ★アルツハイマー型認知症の進行抑制 ★ドネペジル内服中の患者が脳卒中や術後のため内服が困難になった際に貼付剤が必要となるため。 ★本剤は高度アルツハイマー型認知症患者にも使用が可能 ※院外専用医薬品から常備医薬品に移行 ※院外専用医薬品としてアリドネパッチ55mgの採用あり 【発売:2023年4月14日】
1	キドバレン 325	輸液	-	-	2269.0	大塚製薬工場	慢性腎不全高カロリー輸液用アミノ酸・糖・電解質・総合ビタミン液 ★慢性腎不全患者に対する高カロリー輸液に使用。 ★キドバレン輸液は高カリウム血症や高リン血症を合併している。またはそのリスクがある慢性腎不全の患者に対して、栄養補給する。 ★類薬としてハイカリックRFがあるが、当院では採用されていない。そのため70%ブドウ糖液とアミノ酸液を混合して調製しているが、添付文書上の通常使用量(ネオアミュー400mL)では総遊離アミノ酸23gと本剤の2/3に過ぎない。また、単剤を組み合わせて調製するのであればマルチビタミン剤を加える必要があり、さらに手間がかかるが、本品では不要である。経済的にも70%ブドウ糖液+ネオアミュー400mL+マルチビタミン剤を積み上げた薬価と本品の薬価では遜色がない。 【発売:2024年12月3日】
1	テブダック 429	点滴静 注用	40mg	劇	252241.0	ジェンマブ	Tisotumab Vedotin (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤/組織因子標的抗体微小管阻害薬複合体 ★がん化学療法後に増悪した進行又は再発の子宮頸がん患者に対して、生存期間の延長や奏功を期待して使用する。 ★日本のガイドラインで進行又は再発の子宮頸癌に対する一次治療の標準治療は、白金製剤を含む併用化学療法とペムプロリズマブ又はベバシズマブ、若しくはその両方との併用が推奨されている一方で、一次治療後に病勢進行が認められた患者に対する二次治療以降の治療選択肢は限られている。 ★テブダックは子宮頸癌で初めての抗体薬物複合体であり新規の作用機序を有している。 ★国際共同第Ⅲ相試験SGNTV-003 (innovaTV301)試験において一次又は二次全身療法の治療歴のある再発又は遠隔転移を有する子宮頸癌患者を対象として、テブダックと治験担当医師が選択して化学療法との有効性安全性の比較を行った。その結果、全生存期間(OS)を対照群比較して有意に延長した。 【発売:2025年5月21日】
1	バビースモキット 131	硝子体 内注射	120mg/mL	劇	131892.0	中外製薬	Faricimab (Genetical Recombination) 眼科用VEGF/Ang-2阻害剤 ★中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、脈絡新生血管を伴う網膜色素線条の患者の治療。 ★本剤は既にバイアル製剤が院内で常備薬として採用され使用されているが、今回シリンジ製剤が発表された。バイアル製剤と比較して薬剤の調製時に感染のリスクが低減し、準備時間の短縮が見込める。適応疾患も同様であり、シリンジ製剤への切り替えを希望する。 ※常備医薬品としてバビースモ硝子体内注射液120mg/mLの採用あり 【発売:2025年5月28日】
1	ブリービアクト 113	静注	25mg	-	2450.0	ユーシービー ジャパン	Brivaracetam 抗てんかん剤 ★てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む) ★一時的に経口投与できない患者における、下記の治療に対するブリーバラセタム経口製剤の代替療法として使用する。 ★1)急速静脈内投与または点滴静脈内投与が可能である。 2)静脈内投与した薬物動態試験において、約2~10分で脳内へ移行した。 3)経口製剤の代替療法として、経口製剤と同じ投与量・投回数で静注製剤に切り替えが可能である。 4)一時的に経口投与ができないてんかん患者(嚥下障害・腸管不全・脳腫瘍・脳卒中・頭部外傷等の周術期等)への代替療法として、治療の中断や異なる抗てんかん剤への切り替えによるリスクの回避が可能である。 ※常備医薬品としてブリービアクト錠25mg、院外専用医薬品としてブリービアクト錠50mgの採用あり 【発売:2025年4月17日】

⑥臨時採用医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	フォサマック 399	錠	35mg	劇	202.1	オルガノン	Alendronate Sodium Hydrate 骨粗鬆症治療薬 ★当院へ転院されてきた小児の患者。前医よりフォサマック錠が処方されていたが、当院採用薬の関係上、ボナロン経口ゼリーへ変更となった。ゼリーの薬剤形態が合わず内服困難となり、以前内服できていたフォサマック錠で治療を行うため。 ※常備医薬品としてボナロン経口ゼリー35mgの採用あり 【発売:2006年9月15日】

⑦院外専用医薬品(合計13品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	イクセロン 119	パッチ	18mg	劇	184.6	ノバルティス ファーマ	Rivastigmine アルツハイマー型認知症治療剤 ※アリドネパッチ27.5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 ※常備医薬品としてイクセロンパッチ4.5mg、院外専用医薬品としてイクセロンパッチ9mg、13.5mgの採用あり 【発売:2011年7月19日】
7	カムザイオス 219	cap	1mg	劇	7,204.0	ブリストル・マ イヤーズ スク イブ	Mavacamten 肥大型心筋症治療剤/選択的心筋ミオシン阻害剤 ★閉塞性肥大型心筋症の治療 ★我が国において閉塞性肥大型心筋症を適応症として承認された有効な治療薬は存在せず、症状緩和を目的とした対症療法のみであった。 ★本剤は、肥大型心筋症の主要原因とされる心筋サルコメア内の異常に直接的に作用することで、心筋の収縮力を減弱させ、心筋のエネルギー消費を抑制し、拡張機能障害や左心室流出路狭窄の改善が期待できる薬剤である。 ★また、心不全診療ガイドライン2025においても2ndライン薬としてクラスIで推奨されており、日本人の症候性閉塞性肥大型心筋症患者にも有用と思われる。 【発売:2025年5月21日】
7			2.5mg		7,264.8		
7			5mg		7,410.5		
7	ゼボジア 239	cap	スターター パック	劇	12313.3 (1シート)	ブリストル・マ イヤーズ スク イブ	Ozanimod Hydrochloride 潰瘍性大腸炎治療剤/スフィンゴシン1-リン酸(S1P)受容体調節剤 ★中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療に使用する。 ★以下3点の特徴から今後の潰瘍性大腸炎治療においても幅広く使用可能と考えられる。 ・ゼボジアはスフィンゴシン1-リン酸(S1P)受容体調節剤という潰瘍性大腸炎治療薬としては初めての作用機序である点 ・1日1回1カプセルと服用しやすい点 ・寛解導入から寛解維持まで使用できる点 【発売:2025年3月19日】
7			0.92mg		4,792.8		
7	テクフィデラ 119	cap	120mg	-	2,061.7	バイオジェン・ ジャパン	Dimethyl Fumarate 多発性硬化症治療剤 ★多発性硬化症のためテクフィデラ240mgを内服するが、初めの2週間は120mg2錠で開始した方が、副作用が圧倒的に少ないため、120mg2錠で開始したい。 ※臨時採用医薬品として採用中 ※常備医薬品としてテクフィデラカプセル240mgの採用あり 【発売:2017年2月22日】
7	ビルタサ 219	懸濁用 散分包	8.4g	-	949.5	ゼリア新薬工 業	Patiromer Sorbitex Calcium 高カリウム血症改善剤 ★アルダクトン(スピロノラクトン)使用時の高カリウム血症の際、腹水の治療において塩分制限も同時に行う必要があることから、ナトリウムが入っておらず、1日1回でアドヒアランスを保てる本剤が臨床的に有用と考えられる。 ★腫瘍崩壊症候群および化学療法中の腎機能低下に伴って起こる高カリウム血症に対しても、アドヒアランスを考慮された本剤が有用であると考えられる。 【発売:2025年3月17日】
7	ピヨントラ 219	錠	400mg	-	8,995.9	アレクシオン ファーマ	Acoramidis Hydrochloride トランスサイレチン型心アミロイドーシス治療薬 ★心アミロイドーシス治療 ★増加傾向にある心アミロイドーシス治療の選択肢を増やすため。 ★山口大学病院が申請医薬品であるピヨントラの県内唯一の認定施設であり、治療開始するために必要である。 【発売:2025年5月21日】
7	フィコンパ 113	錠	4mg	-	319.7	エーザイ	Perampanel Hydrate 抗てんかん剤 ※プリピアクト静注25mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する。 ※常備医薬品としてフィコンパ錠2mg、フィコンパ点滴静注用2mg、院外専用医薬品としてフィコンパ細粒1%の採用あり 【発売:2016年5月26日】
7	フリュザクラ 429	cap	5mg	劇	28,640.3	武田薬品工業	Fruquintinib 抗悪性腫瘍剤 キナーゼ阻害剤 ★がん化学療法後に増悪した治療切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌 ★フルキンチニブは、大腸がんにおいて血管新生を抑制することで、腫瘍の進行を抑える効果がある。特に血管内皮増殖因子(VEGF)経路を標的とし、化学療法と併用することで治療効果を高めることが示されている。 ★臨床試験では、患者の無進行期間や生存期間の延長に寄与し、副作用も比較的管理しやすいため、二次治療や進行・再発例で有用とされている。診療ガイドラインにおいても推奨されている。 【発売:2024年11月22日】
7			1mg		6,167.3		

7	リンヴォック 399	錠	45mg	劇	8,226.0	アツヴィ合同 会社	Upadacitinib Hydrate ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 ★潰瘍性大腸炎、クローン病の導入療法 ★潰瘍性大腸炎とクローン病の導入療法では45mgの用量が必要である。患者の服用負担と経済性の面でリンヴォック45mgの新規採用が望まれる。 ★現在、リンヴォック錠7.5mgのみ採用となっており、6錠服用しているため患者の服用負担が大きい。また、リンヴォック錠7.5mg:2,205.40円/錠であり45mg換算にすると:7.5mg×6錠:13,232.4円となる。リンヴォック錠45mgを採用すると8,226.00円/錠となり、経済性の面で1日約5,000円ほど医療経済的負担を軽減することが可能であると考えられる。 ※常備医薬品としてリンヴォック錠7.5mgの採用あり 【発売:2022年11月17日】
---	---------------	---	------	---	---------	--------------	--

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アイリーア8mg	硝子体内注射液	114.3mg/mL	劇	アイリーア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL採用の場合、削除
1	大塚糖液	輸液	70% 350mL	-	キドバレン輸液採用の場合、削除
1	ニコペリック(排液用バッグ付)	腹膜透析液	1.5L	-	テブダック点滴静注用40mg採用の場合、削除
1	パピースモ	硝子体内注射液	120mg/mL	劇	パピースモ硝子体内注射用キット120mg/mL採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	治療用アルゲンエキス皮下注「トリイ」ハウスダスト1:10	皮下注	-	-	タトロウェイ点滴静注100mg採用のため、削除
1	治療用アルゲンエキス皮下注「トリイ」ハウスダスト1:100	皮下注	-	-	ビジバーク注270 100mL採用のため、削除
1	イクセロン	パッチ	18mg	劇	アリドネパッチ27.5mg採用のため、区分7へ移行
1	フィコンパ	錠	4mg	-	ブリエピアクト静注25mg採用のため、区分7へ移行

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計6品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	イスツリサ 249	錠	1mg	劇	3,335.9	レコルダティ・ レア・ディジー ズ・ジャパン	Osilodrostat Phosphate 副腎皮質ホルモン合成阻害剤 ★Cushing症候群が疑われ、イスツリサによるコルチゾール抑制が症状改善に必要。 常備薬にコルチゾール合成阻害作用(11βヒドロキシラーゼ阻害薬)を有する薬剤がないため。 【発売:2021年6月30日】
11	オラデオ 449	cap	150mg	-	74,228.2	オーファンバ シフィック	Bertolastat Hydrochloride 遺伝性血管性浮腫発作抑制用 血漿カリクレイン阻害剤 ★遺伝性血管性浮腫 I 型の患者。 ★トラネキサム酸を投与するも発作が抑制できておらず長期予防薬としてオラデオ処方する。 【発売:2021年4月23日】
11	ケサンラ 119	点滴静 注液	350mg	劇	66,948.0	イーライリリー	Donanemab (Genetical Recombination) ヒト化抗 N3pG アミロイドβモノクローナル抗体製剤 ★アルツハイマー病による軽度認知障害。 ★当院採用では2週に1回投与の製剤があるが、適応にならなかったことと、患者が遠方であり頻回の通院が困難であった。本剤は適応であり、投与間隔は4週に1回の製剤であることから通院の負担が軽減される。 ★認知機能低下の進行抑制が期待できる。 【発売:2021年6月30日】
11	ゲフィチニブ「DSEP」 429	錠	250mg	劇	1,188.2	第一三共エス ファ	Gefitinib 抗悪性腫瘍剤 上皮成長因子受容体(EGFR)チロシナーゼ阻害剤 ★EGFR陽性肺腺癌としてタグリソフで治療し奏功したが、経過中タグリソフによる心筋炎で中止した。継続治療として心血管イベントの報告のないイレッサを使用するため。 【発売:2021年6月30日】
11	コンサータ 117	錠	27mg	劇 向	261.9	ヤンセン ファーマ	Methylphenidate Hydrochloride 注意欠陥/多動性障害(AD/HD)治療薬 ★院外で処方中の患者が入院、院外専用医薬品であり、院内処方できないため。 ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2007年12月】
11			18mg		235.8		

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しアリンクを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替薬の採用について

販売中止薬	代替薬	
アラグリオ顆粒剤分包1.5g(75985.9円)	→ アラグリオ内用剤1.5g(75985.9円)	2025年5月30日切替済
ハイセチンP軟膏(14.0円/g)	→ クロマイ-P軟膏(20.7円/g)	2025年6月4日切替済
スプレキュア点鼻液0.15%(7014.1円)	→ プセレリン点鼻液0.15%「F」(4757.6円)	2025年6月4日切替済

3)供給停止に伴う代替薬の採用について

供給停止	代替薬	
ヘパリンナトリウム注N5千単位/5mL「AY」 (アンプル品)(165.0円)	→ ヘパリンナトリウム注5千単位/5mL「AY」(バイアル品)(165.0円)	2025年5月30日切替済

4)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

2023年11月9日処方オーダー一時停止	→ ラスリテック点滴静注用7.5mg(28774.0円)	2025年5月20日切替済
----------------------	------------------------------	---------------

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)